

# 令和7年度 第2回地域ケア圏域会議



日時:令和8年3月13日(金曜日) 14:00～ 場所:大岡地区センター 2階会議室  
主催:きせがわ地域包括支援センター 総括:沼津市社会福祉協議会 井上氏

現在行われている**フレイルチェック会**は、きせがわ地域包括支援センター指導のもとに大岡住民フレイルサポーターが主体となり「栄養」・「運動」・「社会参加」の視点から地域住民のフレイル(虚弱)リスクを「見える化」して予防を促す活動を通じて健康寿命の延伸を地域貢献、社会参加の役割創出を目指して行われています。

第1回地域ケア圏域会議では「フレイル予防活動の継続」と「フレイルサポーターの拡充」をテーマに協議し、「周知不足や担い手不足」、「継続支援の受け皿整備の必要性」など共有されました。



第2回地域ケア圏域会議



説明風景

## 【きせがわ病院での**フレイルチェック会**】について

～きせがわ病院・川村氏より～

特定の疾患やリスクを個人に限定せず、地域住民を対象として健康づくりや予防介入を行う方法で、専門的アドバイスが出来ることが利点です。対象を絞らないことで、より多くの人々にとって支援の「入口」を広げることができ、健康格差の縮小や早期介入による重度化防止につながる事で、地域に貢献できる対策の一つと考えられます。

### 【今後の課題】

#### ① 【環境整備・情報発信型(広く伝える)】

住民全体を対象に、フレイルの認知度向上や、健康的な行動の選択しやすい環境を作る。例えば広報誌でのチェックリスト配布、ポスター掲示、健康情報の動画配信、ウォーキングマップの整備などが考えられます。

#### ② 地域住民を集め、実際にフレイルチェックを実施し、直接的な行動変容を促す。体測定会、健康茶和会、フレイルサポーターによるチェックなどの継続が考えられます。

きせがわ地域包括支援センターより、令和8年度から木瀬川自治会をモデル地区として**フレイルチェック会**を開催したいとの旨の発言がありました。